

<週報No. 2, 913> 3, 024 回例会

2020年2月21日(金)

◆会長／玉本 広人 ◆幹事／山田 文雄

◆司会＝八幡一成 SAA

◆ゲストビジター＝本日はいらっしゃいません。

◆出席報告

| | | |
|-----|--------|-------|
| 本 日 | 60.42% | 19名欠席 |
| 前 回 | 87.23% | 7名欠席 |

◆ラッキーナンバー＝No.28 平林明君

◆ニコニコボックス ●石田孝一君＝3月1日付で長野本社に異動となりました。28日が最後の例会となります。2月一杯ですが宜しくお願い致します。●玉本広人君・山田文雄君＝漸く新入会員が増えそうです。皆様のご協力に感謝申し上げます。本日例会担当の前田さん宜しくお願い致します。●山本實君＝3023回例会(国際奉仕担当)はお世話になりました。●北川和彦君＝先日岡谷RC60周年例会に行ってきました。盛会でした。●平林明君＝ラッキーNoにあたって。

◆会長告知・玉本広人会長＝皆さんこんにちは

新型コロナウイルスは、日本人でも3人の死亡者が出て予断を許さない状況です。感染症対策に詳しい神戸大医学部の岩田健太郎教授が、検疫中のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」に乗船した経験として、船内の2次感染リスクの管理が不十分だったと指摘する動画を公開しました。それに対して政府は「感染拡大防止に徹底して取り組んできている」と反論していますが、国際的にも波紋を広げています。

実は、この時岩田教授を船内に入れたとする厚労省で働いている某氏とは、前回の例会でご紹介した沖縄県立中部病院感染症内科の高山義浩医師なのだそうで、「下船していく乗客の方々、現場で頑張っている方々を追い詰めかねない内容なので、事実は事実と認めつつも、動画のなかに登場する当事者として、勘違いされていること、抜けているところは修正させていただきたいと思えます。」として、本人のフェイスブックで岩田教授の動画について非常に冷静にコメントをしています。

そんな中で、新型コロナウイルスに受験生が感染したら、大学はどうするのかというのが議論になっていま

す。今月13日、東京大学がホームページに受験生に向けて新型コロナウイルスへの対応として「り患者は本学の入学試験を受験できません」「追試験等の特別措置は予定しておりません」と発表しました。入試担当者によると「新しい試験問題を作ったり、試験監督や採点の態勢も準備したりする必要があります。併願するほかの大学の試験日程とも調整が必要になるかもしれません。今回は感染拡大が始まってから入試までに時間がなく、こうした準備や調整に必要な十分な時間がとれなかったのも大きな理由です」

東京大学は、新型インフルエンザの感染が流行した10年前の入試でも今回と同様、追試験の実施は「公平性確保の点で懸念がある」として見送っているそうです。このほか大阪大学や広島大学も、感染した受験生の受験は認めず、追試験を実施する予定はないと発表しています。

「追試験がないから試験日当日に熱があってもはたでも行く」とか「少しの熱があっても皆受験で、会場で爆発的な感染拡大になる」との懸念の声や「受験ってそういう厳しさがある。健康管理も受験のうち」「感染を避けるのも実力の内、オリンピックにピークを合わせるのもアスリートの実力だから」という声もあります。いずれにしても一生を左右しかねない問題で、受験生の皆さんにとってたださえ不安なこの時期にますます不安を掻き立てられてかわいそうだなと思います。受験生の皆さんの幸運を祈ります。

様々なイベントの中止や縮小も広がっています。ロータリーでは、23日24日に東京で行われる予定だったローターアクトの4地区合同研修会が中止になりました。これは東京オリンピックを間近に控えた開催地の近況や熱を肌で感じ、友情をかわし親睦を深めることを目的に東京南部・岐阜三重・石川富山・長野の4地区のローターアクターが集まるイベントでした。諏訪ローターアクトのメンバーも参加予定でしたが、今朝中止の連絡が着たようです。

◆幹事報告・山田文雄幹事＝理事会にて、新入会員候補の2回目審議が終わり承認されました。司法書士の善治直樹さんと、推薦社は飯田会員・川村会員です。異議申し立てがある場合は幹事宛連絡ください。もう1名の1回目の審議が終了、承認されました。会員選考委員会と職業分類委員会に承認いただきましたので本日2回目の審議を行います。事務局PCのWINDOWS10への更新が承

認められましたが、メール機能に不具合等が生じています。小口武男会員にマルチプル・ポールハリス・フェロー4回目のバッジが届いています。石田孝一出席委員長が3月1日付で長野へご栄転となります。ご活躍をお祈りいたします。

◆玉本広人会長＝マルチプル・ポールハリス・フェロー



の4回目のバッジが小口武男会員に贈呈されました。

◆委員会報告 ●会員増強委員会・平林明委員長＝37名

にご回答いただいたアンケートを集計したので結果を発表します。今後の RC を背負っていかれる方の指針としていただければと思います（別紙に沿って報告）。また、地区では会員増強を語る前の指針があります。まずは、ロータリアン自身がロータリーを熱く語っていただきたい、皆さんがイキイキとクラブ活動をしていただきたいということです。皆さん自身が広告塔ですのでロータリー外でロータリーの話をしてください。そして、ロータリアン自身が人生をエンジョイしてください。それによりロータリーの魅力が周囲に伝わります。今回2名が新規加入となりそうですが、これに満足せず今後も会員増強を進めていきましょう。



●情報委員会・三井章義会員＝3月に開催される IM について

皆さんにお伝えします。IM とは「Intercity Meeting」の略で、近隣都市数クラブが集まり開催されるロータリーの会合です。4大奉仕部門をカバーした内容が検討されます。クラブ会員全員の参加が求められているもので、目的は会員相互の親睦や知識を広め、更に会員にロータリー情報を伝え奉仕の理想を勉強するために開催され、決議・決定はありません。IM への出席はメイクアップになります。1949年にRI理事会で決定されて以降世界中で実施されてきたもので、当時は「Intercity and Club General Forums (I.C.G.F.)」と呼ばれ、ロー

タリーの情報及び教育のための手段として開催されてきました。その後 2002 年頃、ロータリーが地区リーダーシッププラン (DLP) を採用したころに今の IM になったのだと思います。それまで地区情報委員会が実施していた会員セミナーを IM の際にグループ毎に行うことになり、地区のロータリー情報委員会は消滅しました。尚、IM の主催者はガバナー補佐です。よって、本年度は小口武男ガバナー補佐が招集者となります。



◆クラブ協議会 上半期会計報告 ●前田剛彦会員＝



2019-2020 年度の半期会計を報告します。別紙報告書に沿って会計報告。(以下は別紙未記載部分の主な要旨) 収入の部・雑収入はセイコーエプソン元社長・故人安川様の遺産より寄付をいただきました。支出の部・RI 分担金はロータリーレートが円高に働いたことで予算対比支出が抑えられています。予備費の内訳は FAX 買替費約 30 万円や九州北部豪雨災害への義捐金で 24,000 円、ポリオ撲滅チャリティゴルフ関係で約 14 万円、台風 19 号の義捐金で 5 万円です。全体感は例会費も抑えていただく等努力いただいております。期末も収入超過見込みで健全な財政と考えます。奉仕活動会計報告について、ニコボックスの収入が予算対比不足しています。予算は一人が毎月約 3,000 円を入れていただくことを想定して作成していますので、もう少し皆さん頑張ってください。支出について、諏訪市子ども教育支援の関係で諏訪市の中学校にデジカメを寄付しており、ローターアクトクラブ・美しい環境づくりの関係で支出しています。

◆今後の例会日程

| | | |
|-------|---|------------------|
| 2月28日 | 金 | ガバナー補佐訪問、IM について |
| 3月6日 | 金 | クラブフォーラム 会員卓話 |
| 3月7日 | 土 | 諏訪グループ IM |